

第六駆逐隊は

おすしがたふた







みんなご苦労様  
突然の呼び出し  
で申し訳ない  
.....

今日みんなに集まって  
もらったのは他でもない



一体どうしたのかしら

なんだか怖いのです...



早速だが本題に入ろう。  
今日集ってもらったのは  
ある重大なことを伝える  
ためだ



.....私は、



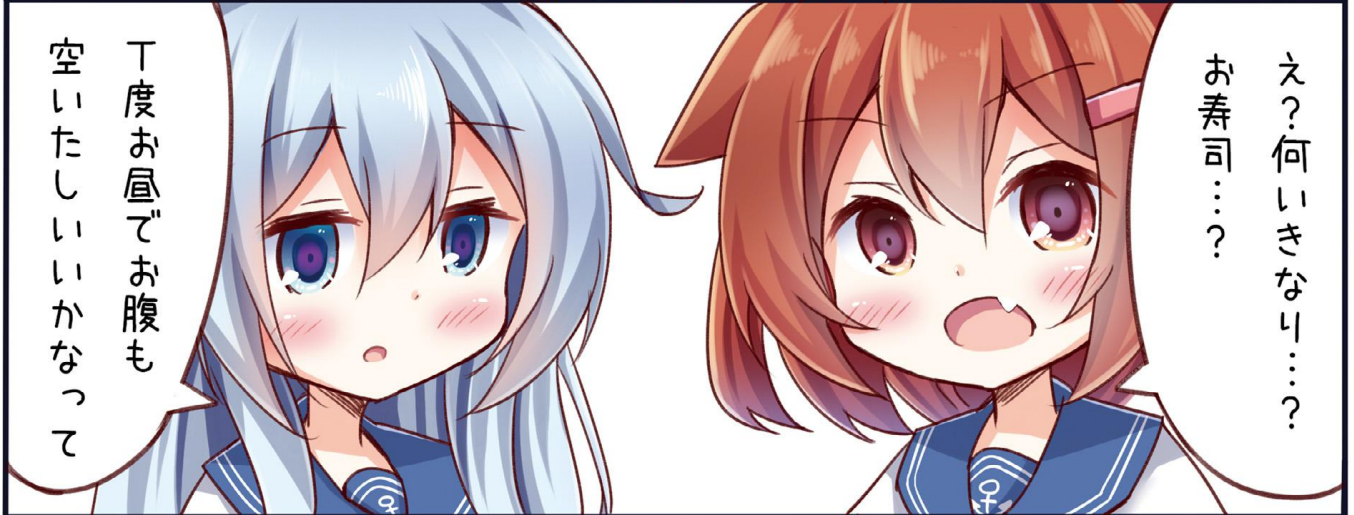
お寿司が食べたい……!

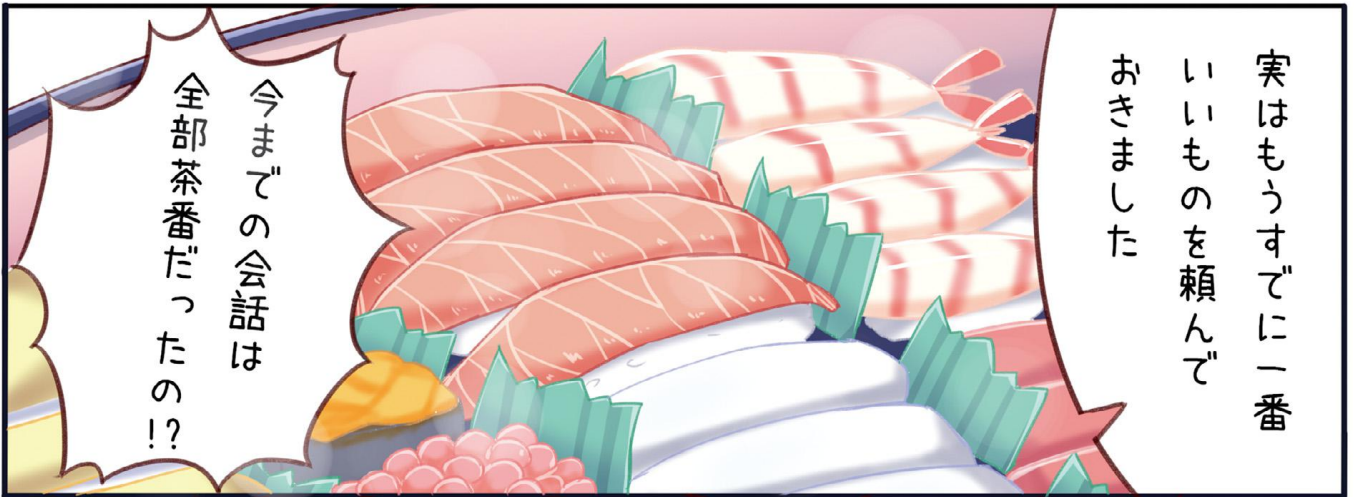


お……お寿司……!!



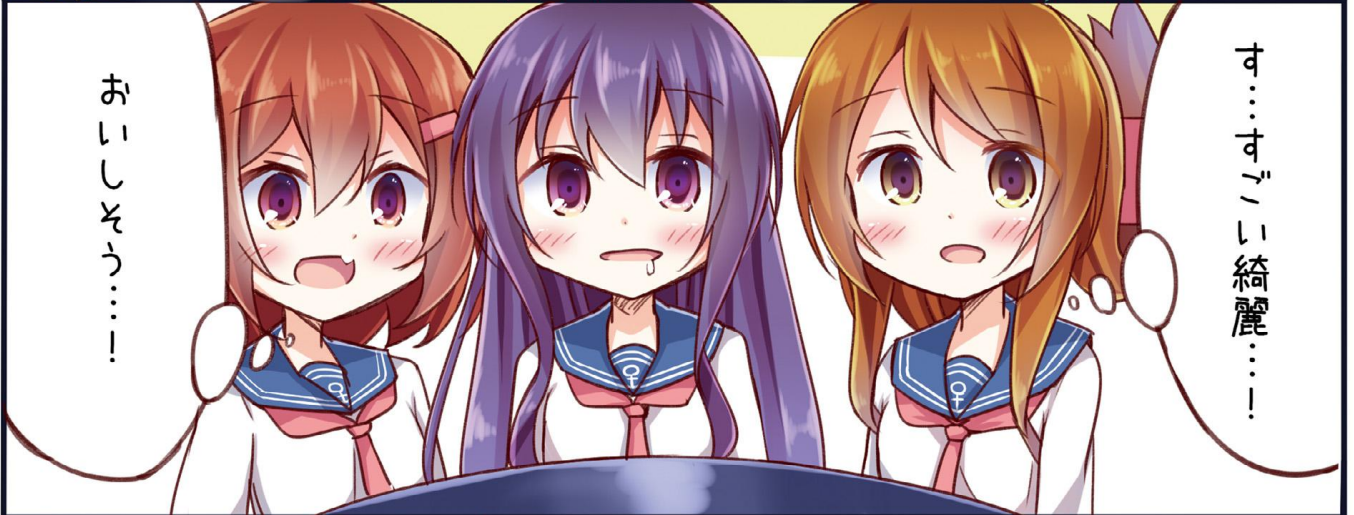
……ん? お寿司……?





実はもうすでに一番  
いいものを頼んで  
おきました

今までの会話は  
全部茶番だったの!?



す…すごい綺麗…!

おいしそう…!



あれれ？  
今おいしそうとか  
思ったでしょ？

ギクッ



全くもう…お金がとか  
言っても、上のお口は  
正直さんだなあ

キリッ

その変な言い方  
やめなさいよ!

まあ冗談はこのくらいにして、早速食べようじゃないか

ほ、ほんとに?!

でも、このお寿司わさびが入ってるのです

暁ちゃんいわさび大丈夫なのでしたっけ?

なっ!?

全く失礼しちゃうわ! 大人のレディなんだからわさびくらい平気よ!

…ほう?

じゃあこのわさびが  
効きやすいと言われ  
ているタコでも  
大丈夫？

コトッ

もちろん平気よ！

ほ、ほら！  
なんとも  
ないじゃない…

ひゅん

もぐもぐもぐもぐ

ピニャ

ニ

うえくん辛いいく  
でもおいしい…

大人の味だよ

暁をいじめるのは  
やめてあげなさい





はあく  
口の中いっぱいに  
広がる幸せ…

私はサーモン

じゃあ…えび!

ほくっ

んんんん〜っ!!


ほろ  
ちか  
さん

お次はいくら!


電は…いかなのです

んんんん〜っ!!


ほろ  
ちか  
さん



いくらーっーっが口の中  
で弾けて凝縮された旨味  
が広がっていく…




このいかもすげーい  
弾力と歯応えがあって  
病み付きになるのです…



二人ともすっかり  
メシの顔になってるね

メシの顔って？



暁も食べてみれば  
わかるよ

スツ…

貝っ!?





私が直々に揉んで育ててあげよう

ガシッ...

ひゃああ!!?



おお?思ってるより意外と...

ちよ...ちよっと  
や...やめ...!!



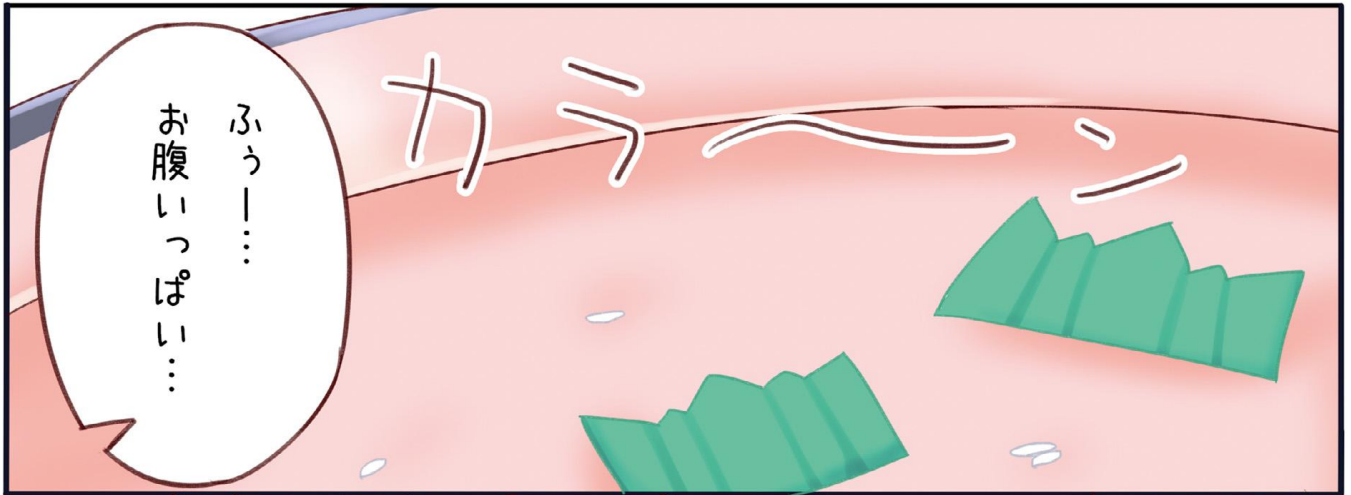
ほら、もっとリラックスして

はにやあ...  
みて、耳に息を吹きかけないで...

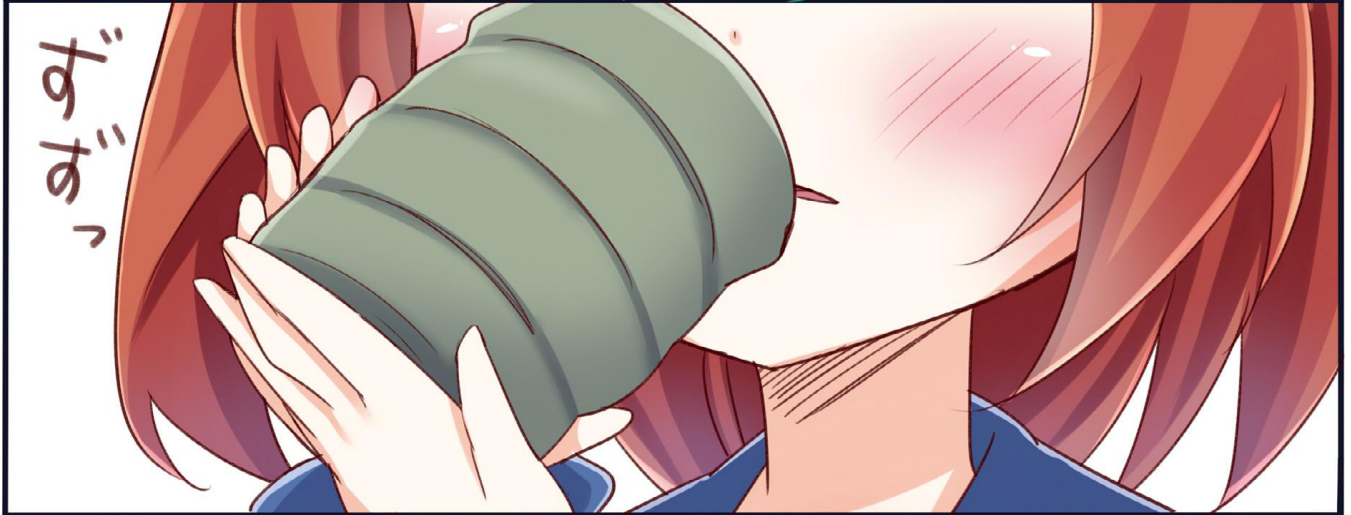


って暁をメシじゃなくてメスの顔にしてどうするつもりなのよ!

フッフッ



ふうー…  
お腹いっぱい…



おめ



やっぱりお寿司には  
緑茶よねー…

それにしても  
大丈夫なのですか？

はい



問題ないよ…

響にはみんなに  
言っていない  
秘密があった

それはお寿司の料金の請求が司令官当てにしてしまったことへについてだった

請求書  
¥ 20,000

思考中

.....

これは見なかったことにしよう

色々と試行錯誤し  
考えたけど思考停止  
で現実逃避しようとする響なのであった

後日これを発見した司令官に怒られたことはまた別の話

次は焼肉がいいな

